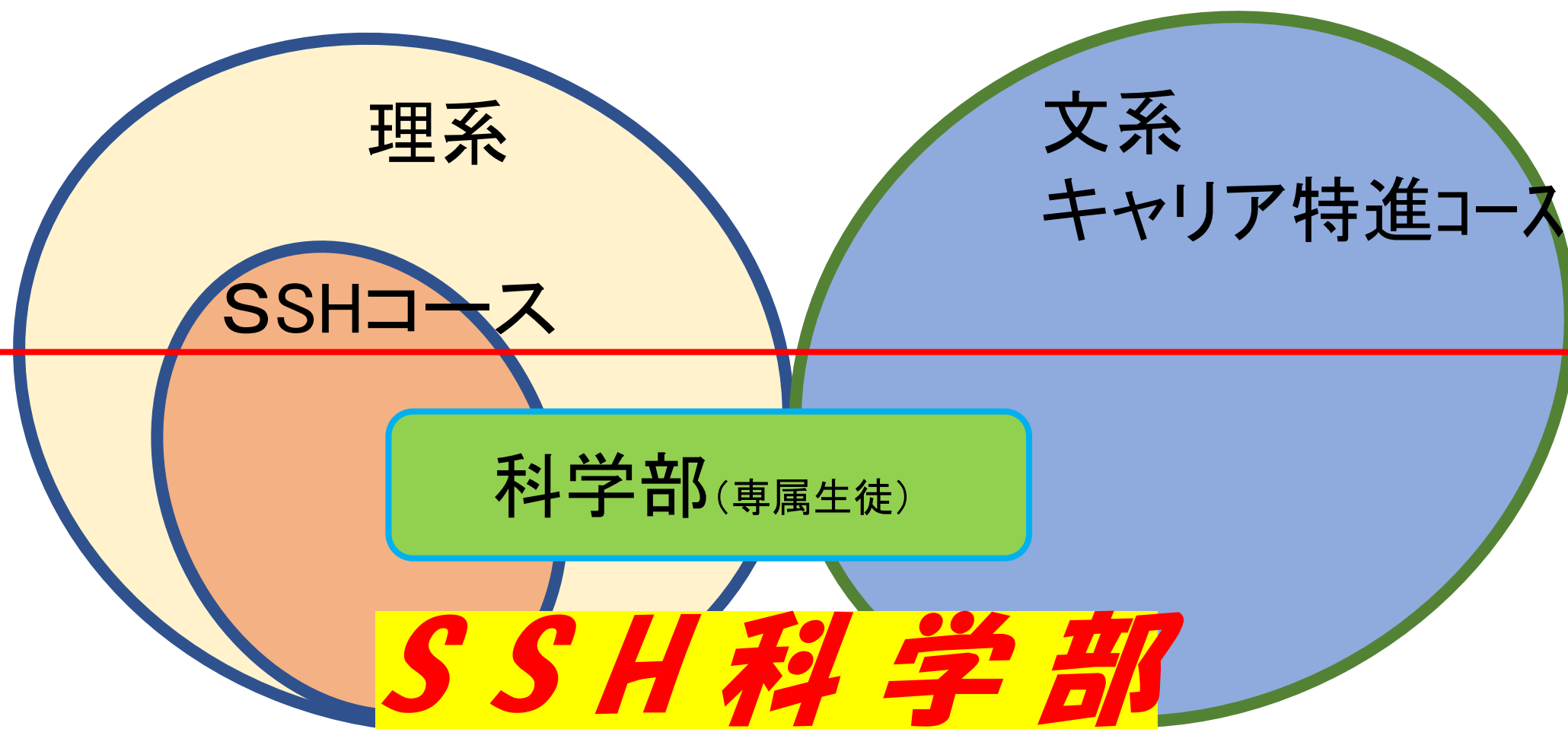


本校SSH活動を牽引し 科学技術人材育成を進める 「SSH科学部」の振興

目的 本校SSH活動を牽引するSSH科学部の活性化により、
主体的で深い研究活動に取り組む高い志とリーダーシップを持った科学技術
人材を育成する。

SSH科学部の位置づけ



課題研究に熱心に取り組み、校外の各種発表会・コンテスト等に積極的に参加し、研究成果を広めようと努力した生徒を「SSH科学部」として扱います。

SSH科学部の振興① 2年Sクラス1期生『校外サイエンス研修』

水産研究・教育機構、(株)CAC (R6 7月)

長崎県環境保健センター (R6 9月)



さまざまな科学技術、研究分野を学び、科学への興味関心を高める。
課題研究支援の連携構築

SSH科学部の振興②

【研修会、フィールドワーク】 全8回、38名（R5年度実績）

- ・ 長崎市立恐竜博物館研修会〔5月5名・8月9名〕
- ・ 神戸研修（神戸大学・理研BDR）〔8月8名〕
- ・ 関東研修（JAXA、日本科学未来館）〔8月5名〕
- ・ 対馬海ごみ研修〔10月3名〕

【タイ海外研修】

- ・ タイ日本サイエンスフェア〔12月4名〕

【研修会、フィールドワーク】 全13回、88名（R6年度実績）

- ・ 東長崎河川調査（5・8月 4名）
- ・ 香焼円福寺森林調査（5月 3名）
- ・ 長崎市沿岸海ごみ調査（5・6・7・8月 2名）
- ・ 野母崎漁協ヒアリング調査（8月 3名）
- ・ 科学部大分巡検（8月 8名）
- ・ Sクラス校外サイエンス研修（7・11・2月 35名）

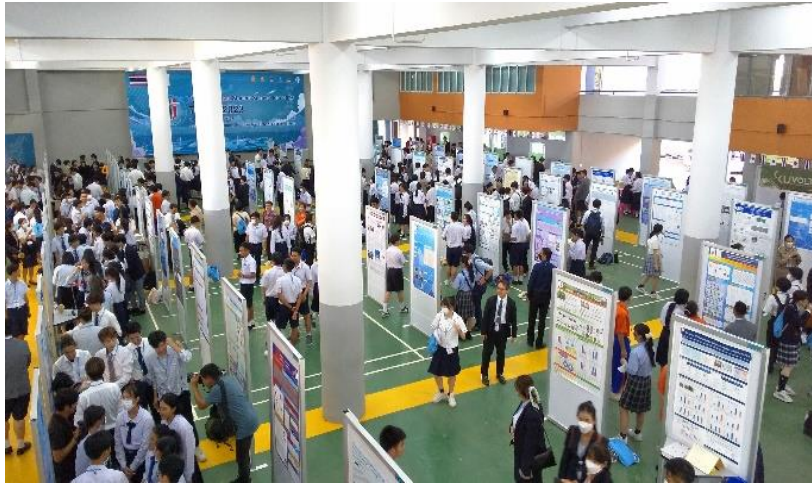
【タイ海外研修】

- ・ タイ日本ICTフェア（12月 4名）



【海外研修】2023タイ日本サイエンスフェア

〔2023 12/18～26 科学部2年生3名、1年生1名〕



【生徒感想】

- ・ 日本語が全く伝わらない状況で研究してきたことを説明することは、予想していた以上に苦労があったが、とても貴重な体験をすることができた。
- ・ 専門用語の英単語がわからなかったり、たった一文の英訳に長い時間がかかったりなど、苦闘の連続だったが、みんなで協力して完成させることができた。

4. SSH科学部の振興③-2

【海外研修】2024タイ日本学生 I C Tフェア & 現地研修 [2024 12/18~25 科学部2年生4名]



【生徒感想】 ●「ペットボトル剥離ゴミ箱」の発表に対し、意見交換では、日本とタイのリサイクル事情との違いは大きかった。そもそも分別という習慣が定着しておらず、他国の習慣に意見を述べられる立場ではないが、相対的に考えることの大切さを学んだ。 ● I C Tワークショップでは、パソコンで色々な立体的図形を作成した。タイは高度な I C T教育が行われている様子で、みんな高いスキルをもっていた。活動では基本的に英語によるやりとりで、タイの高校生との交流を深めることができた。

【学会発表・外部コンテスト等】全14回、のべ49名

・コンピュータ利用教育学会(CIEC)2023PCカンファレンス

『1人1台端末の自主学習への活用～スケジューリングと個別最適化の学習効果について～』 最優秀賞

『快適な住まいと窓の関係～日光の入り方と室内温度の変化～』 奨励賞

・長崎県統計グラフコンクール

『長崎県の人口減少を解決するために～外国人労働者の増加で長崎県を活性化しよう～』 特選(全国大会に出品)

・長崎県高等学校総合文化祭第29回科学研究発表大会

『ニホンミツバチの花粉荷について～光学顕微鏡の観察による～』 優良賞

『長崎県の実ごみの状況とマイクロプラスチックの海岸漂着特徴』 優良賞

『降雨条件を変えた簡易斜面災害モデル』 優秀賞

『水中における物体の落下運動に関する一考察』 優良賞

・九州高等学校生徒理科研究発表大会熊本大会

『降雨条件を変えた簡易斜面災害モデル』 優良賞

・第12回長崎市「図書館を使った調べる学習コンクール

『高校生は読書から得る力をどのように捉えているか—インタビューとアンケート調査にみる高校生の読書観』 優秀賞

【学会発表・外部コンテスト等】 全23回、のべ126名

- ・高校生ビジネスアイデアコンテスト（6月 10名）
- ・アントレプレナーシップゼミ（6月～8月 1名） 最優秀賞
- ・長崎学生ビジネスプランコンテスト（9月） 準グランプリ受賞
「中学部活指導代行～夏休みの指導は我々にお任せ～」
- ・ドローンプログラミング（8月 2名） 優良賞
- ・NEXT人材育成事業アプリ開発コンテスト（ロボット制御コース） 優秀賞、（VRコース） 優良賞
- ・SSH生徒研究発表会（8月 4名）
- ・長崎県科学研究発表会（10月 7名）
 - 「サクラの組織培養への挑戦～冬芽と他の器官からのシュート形成を目指して～」 生物分野最優秀賞
 - 「真砂土条件下における斜面災害モデル実験」 地学分野最優秀賞 ともに九州大会、R7全国総文祭へ
- ・2024九州PCカンファレンスin長崎大学（11月 5班19名）
 - 「サクラの組織培養への挑戦～冬芽と他の器官からのシュート形成を目指して～」 優秀賞
 - 「未利用魚の活用と長崎の水産業の可能性」 実行委員長賞
 - 「ペットボトルラベル剥離機能付きごみ箱の開発」 全国大学生協連合会九州ブロック運営委員長賞
 - 「2040年の長崎のまちづくり～アクティビシティ「3A」施策で幸福度Upへ～」 優秀賞
 - 「音楽の行動誘導効果を利用した南高生の下校を促す試み」 CIEC九州支部長賞
- ・第8回和歌山県データ利活用コンペティション（12月 3名） 全国大会へ（7/128チームに選出）
 - 「未利用魚の活用と長崎の水産業の可能性」
- ・水産学会九州支部大会in長崎大学（12月 3名） 等